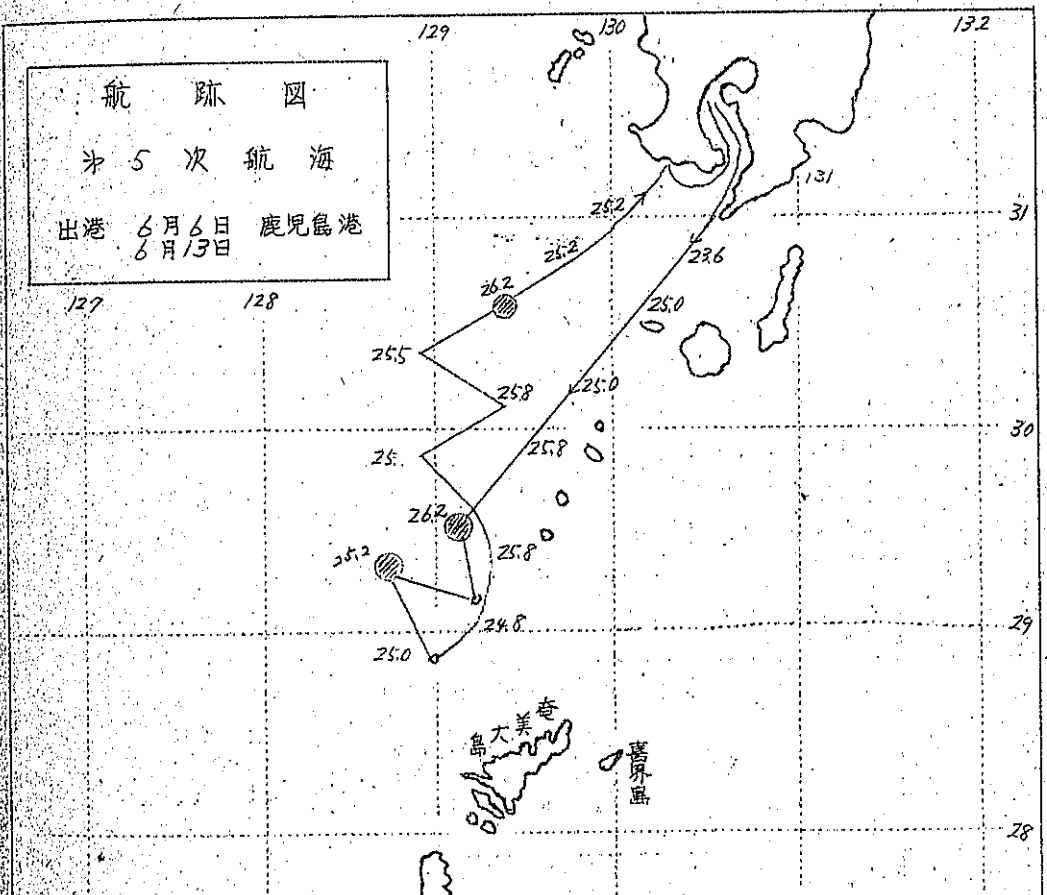


航 跡 図
 第 5 次 航 海
 出 港 6 月 6 日 鹿 児 島 港
 6 月 13 日

月 日		6. 7	6. 9	6. 12
位 置	緯 度	29°20'	29°15'	30°30'
	経 度	129°5'	128°55'	129°32'
気 象	天候気温	C 27.0	C 25.0	C 26.0
	風向風力	SSW 2	SW 3	NW 2
海 況	表面水温	26.2	25.2	26.2
	方向速	ENE 0.5	NNE 1	E 1
	水 色	3	3	3
漁 況	種 類	かつお しび	"	"
	大小濃淡	小 淡	"	"
	餌 料	タレ	"	"
漁 具	使用時	8h~18h	6h~19h	6h~18h
	使用釣数	28本	28本	28本
漁 獲 物		かつお 100kg しび 94	200kg	153kg

航 跡 図
 第 5 次 航 海
 出 港 6 月 6 日 鹿 兒 島 港
 6 月 13 日



月 日		6. 7	6. 9	6. 12
位 置	緯 度	29°20'	29°15'	30°30'
	経 度	129°5'	128°55'	129°32'
気 象	天候気温	C 27°0	C 25°0	C 26°0
	風向風力	SSW 2	SW 3	NW 2
海 況	表面水温	26.2	25.2	26.2
	方向速	E NE 05	N NE 1	E 1
漁 況	水 色	3	3	3
	種 類	かつお しんぼ	"	"
漁 具	大小漁網	小 炭	"	"
	餌 料	夕 V	"	"
漁 獲 物	使用時	8hr 18hr	6hr 19hr	6hr 18hr
	使用釣数	28本	28本	28本
漁 獲 物		かつお 100x しんぼ 94	2001	1521

昭和30年度 対馬暖流海洋観測記録

1. 海洋観測調査

回数	調査期間	使用船			定線及び定点 (別図参照)	備考
		船名	トン数	馬力		
1	昭和 30. 5. 6 30. 5. 10	照洋丸	46.62	115	開聞岬より屋久島永田 岬大島へ 9点 大島より横当島西方へ 100 哩 7点 横当島西方100 哩より 枕崎沖へ 11点	1. 調査事項 各点においてフ ラ ンク ト ン の 採 集 、 気 象 観 測 、 採 水 、 水 温 透 明 度 、 海 流 観 測 の 投 入 2. 調査方法 イ) フランクソンは罾 ネット で 100 m 層 か ら 垂 直 曳 網 し た ロ) 稚魚は内田式稚魚 ネット で 2~3 節 の 速 さ で 水 平 に 約 10 分 間 曳 網 し た。 ハ) 採水及水温測定は 0, 10, 25, 50, 75, 100, 150, & 200mの 各層を連結測定した。
2	30. 6. 21 30. 6. 29	照洋丸	46.62	115	〃	
3	30. 9. 2 30. 9. 14	照南丸	98.93	300	〃	
4	30. 11. 1 30. 11. 14	照南丸	98.93	300	〃	
5	31. 1. 6 31. 1. 29	照南丸	98.93	300	開聞岬よりサンドン岩 9点 大島西方東支那海 34点 野間岬西方180 哩 10点	
6	31. 2. 20 31. 3. 9	照南丸	98.93	300	〃	

2. 調査結果のとりまとめと発表

対馬暖流系資源調査の一環として、すべての資料は西海区水研を通じてそれぞれ定められたところへ送り、又は報告してあり、これが全国のものをもとめて順次発行されているので、経費と時間の節減のため本報告書には記載を省略する。

屋久島発電の海底送電ルート調査

1. 目的

屋久島の豊富な電力を九州本土に直流海底送電するため、屋久島、本土間の海底調査を、県企画室の要望により研究会と協同で実施した。

2. 調査使用船 試験船 照南丸 98.93トン 300馬力

3. 調査期間 昭和31年3月20日～今年4月10日